

### 令和5年度 畜産研究所研究概要

担当	研究課題	研究期間	研究概要
酪農 研究部	胚段階でのゲノム選抜法の実用化研究	R2~R6	バイオプシーした胚の少数細胞から効率的に遺伝能力を推定する技術を確認するとともに、優良胚を効率的に生産する技術を確認する。
	乳用牛の周産期における潜在性疾患の早期発見技術の開発	R3-R5	乳汁中の脂肪酸組成から乳牛の栄養状態を推定することにより、潜在性の段階で早期に異常を発見することで、周産期疾患による経済的損失を低減する技術を開発、普及する。
	飼料用稲等のロールベールサイレージにおけるカビ低減化に関する研究	R4-R6	コントラクターにより生産されたロールベールサイレージのカビ及びカビ毒の実態調査を行うとともに、収穫-保管作業でのカビ低減に向けた技術を明確化する。

### 令和5年度 畜産研究所事業概要

担当研究部	事業名	事業期間	事業概要
酪農 研究部	家畜性判別胚供給事業	H20~	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所内の高能力乳用牛から採取し、雌雄判別した雌胚及び性選別された雌精液を利用して生産した体内胚・体外胚を譲渡する。 (60胚/年)</li> <li>・ 県内農家の乳用牛から採取された牛胚を性判別する。</li> </ul>
	奨励品種指定試験 ～自給飼料生産・利用拡大推進事業～	H8~	自給飼料の生産性向上を図るには、地域の自然条件や利用目的に適応した優良な品種を利用することが極めて重要である。岐阜県下において、普及を促進する必要があると認められる品種の適応性を調査し、県奨励品種選定の基礎資料とする。今年度は牧草7品種の比較試験を実施する。

### 令和5年度 その他の取り組み

担当研究部	その他	期間	概要
酪農 研究部	飼料分析	S61~	酪農家及び肉用牛農家の飼料生産貯蔵技術及び飼料給与技術を支援するため飼料分析を実施する。